

令和8年度 総合体育大会 空手道競技 実施要項

1	大会名	令和8年度 長野県高等学校総合体育大会空手道競技大会 (兼) 第44回長野県高等学校空手道選手権大会	
2	主催	長野県高等学校体育連盟・長野県教育委員会	
3	共催	(公財) 長野県スポーツ協会・長野県空手道連盟	
4	後援	安曇野市・安曇野市教育委員会・信濃毎日新聞社	
5	主管	長野県高等学校体育連盟空手道専門部	
6	期日	2026年6月6日(土)・6月7日(日)	
7	会場	安曇野市明科体育館	
8	日程	開会式 6月6日(土) 9時20分～ 競技 6月6日(土) ～ 6月7日(日) 閉会式 6月7日(日) 11時30分～	
9	参加資格 (県総合大会参加資格に準ずる)	競技団体規定等による資格	(公財) 全日本空手道連盟の登録競技者であること。
		専門部の特例	① チームの編成において全日課程・定時課程・通信課程の生徒による混成は認めない。 ② 生徒減による複数校の合同チームによる大会参加を認めない。
10	参加制限	① 団体戦は男女、組手・形とも地区大会に参加した学校が出場できる。 ② 団体戦組手は男女とも正選手5名補欠2名とする。 ③ 団体戦形は、男女とも正選手3名・補欠3名とする。 ④ 個人戦組手は男女とも地区大会上位者が出場できる。 (北信8名 東信8名 南信16名 中信16名) ⑤ 個人戦形は男女とも地区大会上位8名が出場できる。	
11	参加料	1,000円	
12	競技規則	令和8年度(公財)全日本空手道連盟競技規定に準じて行い、運用については令和8年度(公財)全国及び長野県高体連空手道専門部申し合わせ事項による。	
13	競技方法	(1) 組手競技 ① 団体・個人ともトーナメント戦とし、3位決定戦を行う。 ② 競技時間は2分間。8ポイント差で勝敗が決まる。 (2) 形競技 ① 個人戦は、フラッグ制のトーナメント方式とする。第1・第2指定形を含め、最低3種類の形を必要とする。詳細は大会プログラムによる。 ③ 団体戦はプール制を採用する。出場校数が4校以下の場合、演武は1回のみとし、自由形とする。出場校数が5校以上の場合、メダルマッチにおいてフラッグ制を採用する。第指定形と自由形の2種類以上の形を必要とする。詳細は大会プログラムによる。 ④ 団体形決勝で分解を行う。 (3) 団体戦(組手・形)の出場数が少数の場合は別に規定を定める。 ① 8校未満のトーナメントにおいて、3校のブロックで1～2回戦と勝ち上がり決勝に進出した学校が出た際、そこに敗退した学校同士で「3位決定進出戦」を実施する。	
14	表彰	団体・個人とも3位までに賞状を授与する。	
15	上位大会への出場権	正式大会名	令和8年度北信越高等学校体育大会空手道競技会 <富山県>
		(1) 団体 組手—男女各3校 形—男女各3校 (2) 個人 組手—男女各4名 形—男女各4名	
		正式大会名	令和8年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会 <兵庫県>
		団体組手 男女各1位 個人 組手・形とも男女各1位2位	
16	その他	(1) 組手、形競技とも青帯・赤帯を着用する。組手競技は安全具(男子6点・女子5点セット)を着用すること。Mホ-VlorVII(但し、北信越体育大会以上はVIIのみ)、拳髯—ター(赤・青)は全空連検定品、シガード・インステップガードは全国高体連空手道部検定品、ボディプロテクターは全空連及び全国高体連空手道部検定品とする。男子はフットカップを着用する。 (2) テーピング・髯—ター(白または肌色)については、主審に申し出て許可を受けること。但し、試合に影響を与えない範囲でやむを得ない場合に限る。メガネの使用を禁止する。 (3) 県大会の申込みは地区大会終了後会場で地区専門委員長に申込み確認すること。	
17	問合せ先	(専門委員長) 藤原 諒 (松本第一高校) 0263-46-0555	